

令和4年度

事業報告書

一般財団法人 日本交通安全教育普及協会

I	研修・教育活動	
	1. 交通安全教育指導者等養成活動	
	(1) 交通安全教育指導者研修会の開催	3
	(2) チャイルドシート指導員養成研修会の開催	3
	(3) 高校生向け自転車安全教育インストラクター認定及び更新講習会の開催	4
	2. 交通安全教育指導者等支援活動	
	(1) 学校における交通安全教育に関する協議会の開催	5
	(2) オンラインを活用した交通安全教育手法の開発および普及の実施	6
	(3) 講師派遣の実施	7
	(4) 地域提案型交通安全支援事業の実施	7
	3. 交通安全教育啓発活動	
	(1) 高齢運転者及び自転車運転者の交通事故防止を目的とした 移動型交通安全啓発活動の実施	7
	(2) 幼児・児童及び高齢者を対象にした歩行者向け交通安全講習会の実施	7
	(3) 児童・生徒及び高齢者を対象にした自転車交通安全教室の実施	8
	(4) 自転車安全利用講習会の実施	8
	(5) 緊急時の対応に関する啓発活動の実施	8
	(6) 国際協力による教育普及活動の実施	8
	(7) 関係機関と連携した交通安全教育啓発活動の推進	8
	①シートベルト・チャイルドシート着用推進協議会の事務局	8
	②交通安全フォーラム推進協議会の事務局	9
	③全国交通安全運動への参加	9
	④交通安全ファミリー作文コンクールの実施	9
	⑤反射材フェアへの協賛	9
II	調査研究活動	9
III	情報収集提供活動	
	1. 月刊誌「交通安全教育」の編集・刊行	10
	2. ホームページによる情報の発信及び収集	10
IV	教材の制作・普及事業	
	1. 交通安全教育啓発資料・機材の開発及び普及	10
	2. 教育啓発資料の監修・指導等の実施	10
	3. 児童及び自転車通学者向け高視認性安全服認証及び推奨制度の普及	10
V	基本財産の運用	10
VI	会議の開催	
	1. 理事会	11
	2. 評議員会	11
	3. その他	11

I 研修・教育活動

交通安全教育の担い手である指導者等の養成と指導力・資質の向上を目的として研修・支援を行うとともに、子供や高齢者、一般市民等の交通参加者を対象に、交通安全意識の向上と安全な交通行動の実践化を図ることを目的として交通安全教育啓発活動を実施した。

1. 交通安全教育指導者等養成活動

(1) 交通安全教育指導者研修会の開催

交通安全教育に携わる行政担当者、交通指導員等を対象に、指導者としての資質向上を目的とした研修会を、内閣府の後援を得て、新型コロナウイルス感染症予防のため、Zoomを活用したオンラインで開催した。

①開催日 令和5年2月9日(木)

②実施方法 Zoomを活用したオンライン研修会

③テーマ 「子どもと高齢者に対する効果的な交通安全教育」

④内 容 10:00～16:45

○講義1「高齢運転者の交通安全ーフレイルと運転ー」

講師：千葉県立保健医療大学リハビリテーション学科 准教授

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室 特任助教 藤田 佳男 氏

○講義2「子どもの道路横断の判断能力とは？」

～交通安全教育における家庭・地域の役割～

講師：東京都市大学建築都市デザイン学部都市工学科 准教授 稲垣 具志 氏

○事例発表動画内容に関する質疑応答

※ 事例発表については、発表者側で収録した動画を特設 Web サイトで事前に視聴してもらった。

事例発表1「高齢者の交通安全指導：寸劇『名取交通事故無し病院』」

発表者：名取市交通指導隊教育班

事例発表2「子どもの交通安全指導：実践事例」

発表者：奈良県警察本部交通部交通企画課・奈良警察署交通第一課

事例発表3「オンライン交通安全教育のご案内」

発表者：(一財)日本交通安全教育普及協会

○班別協議・全体会

⑤参加者 70名

(2) チャイルドシート指導員養成研修会の開催

チャイルドシートの正しい知識の定着と使用の促進を目的として、チャイルドシートに関する法的・技術的知識、正しい装着方法など専門的知識を修得した指導者を養成するための研修会を、内閣府、警察庁及び国土交通省の後援を得て、新型コロナウイルス感染症予防のため、eラーニング方式を活用したオンラインで開催した。

①開催日 令和5年3月13日(月)～3月24日(金)

②実施方法 eラーニング方式を活用したオンライン研修会

③内 容 ○子どもたちの命を守るチャイルドシート

講師：埼玉県立小児医療センター 小児救命救急センター 植田 育也 氏

○チャイルドシートの使用義務について

講師：警察庁 交通局 交通企画課 堀之内 博史 氏

○チャイルドシートの技術基準について

講師：国土交通省 自動車局 審査・リコール課 西野 浩史 氏

○チャイルドシートの基礎知識について

講師：(一社) 日本自動車連盟 東京支部事業課交通環境係 由水 雅也 氏

○チャイルドシートの取付け方法

講師：(一社) 日本自動車連盟 東京支部事業課交通環境係 内藤 康介 氏

④参加者 324名

(3) 高校生向け自転車安全教育インストラクター認定及び更新講習会の開催

自動車教習所指導員を対象に、高等学校の自転車安全教育の充実に寄与することを目的として、高校生に対する自転車安全教育における効果的な手法や知識を習得したインストラクター養成のための講習会を、新型コロナウイルス感染症予防のため、eラーニング方式とZoomを活用したオンラインで開催した。

受講後、一定の要件を満たした者には、当協会から「高校生向け自転車安全教育インストラクター」認定証を交付するとともに、1事業所に3名以上の認定者がいる事業所については、適正な活動を行う旨の誓約書の提出をもって「高校生向け自転車安全教育団体」として認定をした。

また、認定者のレベルアップを図ることを目的とした中級、上級認定更新講習会をオンラインで開催した。

【認定講習会】

①開催日 eラーニング視聴期間：令和4年11月2日（水）～11月22日（火）

Zoom講習会：令和4年11月22日（火）11:00～17:30

②実施方法 eラーニング方式とZoomを活用したオンライン講習会

③内 容 【eラーニング（事前視聴）】

○講義1「高等学校における交通安全教育の現状と進め方について」他

○講義2「自己理解を促すためのディスカッション手法(理論)」

○講義3「屋外で実施する自転車教育の手法等について」

○講義4「自転車の交通ルールについて」

【Zoom講習会】

○講義5「自己理解を促すためのディスカッション手法(実演)」

○協議「ディスカッション手法を活用した指導案作成及び実演リハーサル」

○実演「ディスカッション手法を活用した実演発表」

○オンラインによる筆記テスト

○課題：事故再現実演の動画を収録して提出（LINE等を活用）

④講師 東北工業大学 教授 小川 和久 氏

(株)ムジコ・クリエイト東京営業所 所長 野藤 智 氏

(一財) 日本交通安全教育普及協会

⑤参加者 10名

【中級更新講習会】

①開催日 eラーニング視聴期間：令和4年11月7日（月）～11月25日（金）

Zoom講習会：令和4年11月25日（金）10:30～17:00

②実施方法 eラーニングとZoomを活用したオンライン講習会

③内 容 【eラーニング（事前視聴）】

○講義1「高等学校における自転車教育事例紹介」等

○講義2「新型コロナウイルス感染症予防対策に対応した自転車安全教室」

○講義3「アイスブレイクの実践（他己紹介、コーチング理論）」

○講義4「リスニング（アクティブリスニング理論）の技法」

【Zoom 講習会】

- 講義 5「クエスチョン（質問の技法、オープンクエスチョン実習）」
- 協議 1「コーチング技法展開協議（事故はなぜ起きた？）」
- 協議 2「実践を想定したシナリオ案作成」
- 実演「コーチング技法実践（グループディスカッションの展開）」

④講師 (株)ムジコ・クリエイト東京営業所 所長 野藤 智 氏
(一財) 日本交通安全教育普及協会

⑤参加者 11名

【上級更新講習会】

①開催日 eラーニング視聴期間：令和4年11月2日（水）～11月29日（火）
Zoom講習会：令和4年11月29日（火）10:30～16:30

②実施方法 eラーニングとZoomを活用したオンライン講習会

③内容 【eラーニング（事前視聴）】

- 講義 1「高等学校における自転車教育事例紹介」等
- 講義 2「新型コロナウイルス感染症予防対策に対応した自転車安全教室」
- 講義 3「コーチングメソッド(マイクロコーチング等)を活用した教育手法」

【Zoom 講習会】

- 活動報告「高等学校、その他での交通安全教育活動事例発表」
- 協議 1「高校生向け自転車安全教室を想定した実施企画案作成」
- 講義 4「コーチングメソッド(マイクロコーチング等)を活用した教育手法（応用編）」
- 協議 2「実践を想定した指導案・シナリオ案作成」
- 実演「マイクロコーチング技法を活用した交通安全教室の実演発表」

④講師 (株)ムジコ・クリエイト東京営業所 所長 野藤 智 氏
(一財) 日本交通安全教育普及協会

⑤参加者 8名

2. 交通安全教育指導者等支援活動

(1) 学校における交通安全教育に関する協議会の開催

都道府県教育委員会、政令市教育委員会及び中核市、東京都特別区の各教育委員会交通安全教育担当者等を対象に、今後の交通安全教育の方向性を探り、その成果の普及を図ることを目的として、文部科学省の後援の下、基調講演及びショートプレゼンテーションによる子供の交通事故実態等を踏まえた重要課題や先進的な取組紹介、パネルディスカッションによる4つのテーマについての意見交換等を、Zoomを活用したオンラインにより新たな試みとしてシンポジウム形式で開催した。

①開催日時 令和4年7月15日（金）13:15～16:30

②実施方法 Zoomを活用したオンライン開催

③内容

- 基調講演「これから求められる交通安全教育」

講師：文部科学省 総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課
交通安全教育推進室 交通安全教育調査官 森本 晋也 氏

- ショートプレゼンテーション

1. 「学校・家庭・地域が一体となった通学路の危険箇所確認！マップ・ウォーキング」

香川県観音寺市立豊浜小学校 校長 河内 直人 氏

2. 「GISを活用して地域の安全を担う市民育成を目指す教育プログラム（中学校社会科）」

愛媛大学教育学部社会科教育講座 准教授 井上 昌善 氏

3. 「自転車マナーアップ等の課題に主体的に取り組む『みやぎ高校生サイクルサミット』」

宮城県教育庁保健体育安全課 主任主査 門脇 泰史 氏

4. 「特別支援学校における交通安全教育の実態と課題」

金沢大学附属特別支援学校 教諭 吉岡 学 氏

5. 「New Normal 時代の日本交通安全教育普及協会の取組」

(一財) 日本交通安全教育普及協会

○パネルディスカッション「学校に求められる交通安全教育」

テーマ1「通学通園路の安全確保の対策として重要なことは？」

テーマ2「児童生徒の交通安全意識向上や自転車ヘルメット着用など

主体的に取り組む交通安全教育で重要なことは？」

テーマ3「交通安全教育に関する指導力等の向上に重要なことは？」

テーマ4「オンラインを活用した手法等、これからの交通安全教育として

求められることは？」

○全体講評 文部科学省総合教育政策局 安全教育調査官 森本 晋也 氏

④参加者 都道府県・政令市及び中核市・東京都特別区教育委員会の学校安全教育担当 30名

(2) オンラインを活用した交通安全教育手法の開発および普及の実施

(一社) 日本損害保険協会の自賠責運用益拠出事業からの補助により、平成23年～25年度にプレドライバ教育拡充活動を実施したが、令和3年度より実施内容の見直しを行い、新型コロナウイルス感染症の影響により、従来の対面・集合型の交通安全教育が実施困難なケースがみられる現状を踏まえ、コロナ禍における交通安全教育の機会確保を目的として、学校などで実施されている既存の交通安全教室(リアル交通安全教育)については適切な感染症予防対策を組み込んだ運営ノウハウの確立を図るとともに、新たな様式として非対面・非接触型の交通安全教育(オンライン交通安全教育)手法の企画・検討とオンライン交通安全教育用プラットフォーム及びコンテンツを開発した。

令和4年度は、プラットフォームWebサイト「交通安全オンライン教室」の機能拡充について、指導者と学習者の双方向でのやり取りを支援する「オンラインワークシート」及び「テスト」機能の実装等を行った。

また、モデル事業についても継続して実施し、その結果を踏まえ内容の改善、修正を図るとともに、全国の学校等で利用を推進するため「学校における交通安全教育に関する協議会」等において、「交通安全オンライン教室」及びその活用事例などの紹介を行った。

【モデル事業一覧】

○小学生

令和4年10月20日(木) 10:45～15:20 さいたま市立道祖土小学校 小学5年生 117名

令和5年2月15日(水) 8:30～9:15 世田谷区立武蔵丘小学校 小学6年生 90名

○中学・高校生

令和4年4月15日(金) 12:25～13:55 藤枝順心高等学校 2年生 144名

令和4年4月21日(木) 14:30～15:15 静岡聖光学院中学校・高等学校 中学1年生

令和4年5月20日(金) 14:30～15:20 静岡県立藤枝北高等学校 高校1年生 160名

令和4年6月21日(火) 11:50～12:30 静岡聖光学院中学校・高等学校 中学3年生、
高校1年生

令和4年9月3日(土) 11:50～12:30 静岡聖光学院中学校・高等学校 中学2年生

令和4年9月21日(水) 8:50～14:20 三重県立亀山高等学校 高校1年生

令和4年11月14日(月) 15:00～15:50 静岡県立藤枝東高等学校 高校1年生 287名

令和5年3月15日(水) 9:30～10:30 静岡県立藤枝西高等学校 高校1・2年生 300名

(3) 講師派遣の実施

自治体や関係機関・団体、学校及び民間企業等からの要請により、児童・生徒から成人・高齢者までの対象者に合わせた交通安全講習会や啓発イベントへ講師として職員等の派遣を行った。

また、新型コロナウイルス感染症予防に対応した取り組みとして、Zoom等を活用したオンラインでの講義やeラーニング用の講習動画の制作を行った。

(4) 地域提案型交通安全支援事業の実施

内閣府からの委託を受けて、地域における自主的な交通安全活動を推進することを目的に、地方公共団体から提案されたプログラムを2か所で実施した。

①徳島県会場

事業名 三好地区高齢者交通安全ふれあいフェア

日 時 令和4年10月13日(木) 13:30~15:30

会 場 三加茂自動車学校

参加者 三好地区居住の高齢者等 40名

内 容 スケアードストレート見学、シートベルトコンビンサー体験(交通安全講習)、サポートカー体験、反射材効果確認コーナー

②兵庫県会場

事業名 太子町スケアードストレート交通安全教室

日 時 令和4年11月14日(月) 14:25~15:15

会 場 太子町立太子西中学校

参加者 同校全校生徒 497名

内 容 スケアードストレート交通安全教室、交通安全教室の撮影及びDVDの作成・配布

3. 交通安全教育啓発活動

(1) 高齢運転者及び自転車運転者の交通事故防止を目的とした移動型交通安全啓発活動の実施

J A共済連からの委託を受けて、地域で実施されるイベント等に自動車及び自転車の交通事故防止を目的に、交通安全危険予測シミュレータ等を搭載した車両及び指導員を派遣した。

①自動車シミュレータ体験車 派遣回数 38回

②自転車シミュレータ体験車 派遣回数 40回

(2) 幼児・児童及び高齢者を対象にした歩行者向け交通安全講習会の実施

東京都からの委託を受けて、幼児・児童とその保護者及び高齢者を対象に「歩行者向けの交通安全危険予測シミュレータ」を活用した講習会や啓発イベントを実施した。

①幼児・児童向け(実施回数142回 都内小学校140校、幼稚園・保育園2園 参加者数12,637人)

プログラム ○交通安全クイズ(信号の意味、飛び出しの危険)

○歩行シミュレータ実技体験(横断歩道の渡り方等、危険予測学習)

講 師 (一財)日本交通安全教育普及協会 等

②高齢者向け(実施回数11回 参加者数371人)

プログラム ○認知・判断力診断

○歩行シミュレータ実技体験(道路の横断の仕方、危険予測学習)

講 師 (一財)日本交通安全教育普及協会 等

③啓発イベント(実施回数6回 参加者数1,050人)

プログラム ○歩行シミュレータ実技体験(対象者に合わせてコース選定)

指 導 者 (一財)日本交通安全教育普及協会 等

(3) 児童・生徒及び高齢者を対象にした自転車交通安全教室の実施

東京都からの委託を受けて、主に児童・生徒とその保護者及び高齢者を対象に「自転車の交通安全危険予測シミュレータ」を活用した教室や啓発イベントを実施した。

①児童・生徒向け（実施回数 184 回 都内の小・中・高等学校 184 校 参加者数 18,758 人）

プログラム ○交通ルールに関する講義（自転車安全利用五則、ヘルメットの着用、点検の重要性、事故発生時の義務）

○自転車シミュレータ実技体験（交差点の通行方法等、危険予測学習）

講師 （一財）日本交通安全教育普及協会 等

②高齢者向け（実施回数 6 回 参加者数 112 人）

プログラム ○交通ルールに関する講義（自転車安全利用五則、非注意性盲目）

○自転車シミュレータ実技体験（交差点の通行方法等、危険予測学習）

講師 （一財）日本交通安全教育普及協会 等

③啓発イベント（実施回数 32 回 参加者数 3,592 人）

プログラム ○自転車シミュレータ実技体験（対象者に合わせてコース選定）

指導者 （一財）日本交通安全教育普及協会 等

(4) 自転車安全利用講習会の実施

東京都武蔵野市からの委託を受けて、一般市民を対象に、自転車事故の発生状況や安全な乗り方等についての講義を内容とする自転車の安全利用のための講習会を実施した。

令和 4 年度は、合計 41 回 1,709 名が受講し、講習会終了後に自転車安全利用認定証の交付、反射材配付、市民には T S マーク助成券の交付等を行った。また、オンライン形式での講習会も試行実施した。

東京都武蔵野市以外にも、東京都調布市において、市職員や一般市民を対象とした自転車安全利用講習会を開催したほか、台東区において同様の講習会を開催するにあたり、講師派遣を行った。

(5) 緊急時の対応に関する啓発活動の実施

日本保安炎筒工業会との連携・協力により、交通事故・二次災害等の減少に資することを目的として、発炎筒の使用方法や性能、非常時等における対処方法を普及啓発するためのポスターを 5,000 枚制作し、全国の都道府県、政令指定都市、警察本部、各高速道路（株）等に配布した。

(6) 国際協力による教育普及活動の実施

JICA バングラデシュ国ダッカ交通安全プロジェクトによる日本国内での研修において、「我が国における年代別の交通安全教育の取組」について講義するとともに、交通安全教育ツールの紹介において各種シミュレータを使って体験研修を実施した。

また、令和元年度に採択されている JICA 草の根技術協力事業におけるミャンマー連邦共和国での「ヤンゴン市における子供を対象とした交通安全教育指導者養成事業」実施について引き続き検討を行った。

(7) 関係機関と連携した交通安全教育啓発活動の推進

交通安全教育の普及を目的に、下記のとおり、関係機関と連携した活動を推進した。

①シートベルト・チャイルドシート着用推進協議会の事務局

関係省庁、団体等官民一体となって国民のシートベルトとチャイルドシートの着用推進啓発活動を行っている「シートベルト・チャイルドシート着用推進協議会」の活動に協力するとともに、同協議会の事務局を担当した。

②交通安全フォーラム推進協議会の事務局

国民の交通安全意識の高揚と定着を目的とした交通安全フォーラム（内閣府及び開催地の都道府県・市主催、関係省庁後援、関係団体協賛）の推進協議会の活動に協力するとともに、同協議会の事務局を担当した。

日 時 令和5年1月24日（火） 16:00～17:50

場 所 神奈川県／新型コロナウイルス感染症予防のため、集客せずオンラインで配信

テ ー マ 新たなモビリティに対応した交通安全対策

内 容 ○基調講演「新たな移動手段と道路空間」

横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院 教授 田中 伸治 氏

○パネルディスカッション

渡邊 健 氏（パシフィックコンサルタンツ（株）

社会イノベーション事業本部 交通政策部

都市再生室 チーフプロジェクトマネージャー）

森田 将之 氏（モビリティジャーナリスト）

久保田 恒美 氏（神奈川県警察本部交通総務課事故対策官）

関口 美恵子 氏（神奈川県エアロビック連盟会長）

神奈川県立茅ヶ崎高等学校 生徒6名

③全国交通安全運動への参加

官民一体となって実施している「春・秋の全国交通安全運動」に協賛団体として参加・協力を行った。

④交通安全ファミリー作文コンクールの実施

警察庁及び関係団体との共催により、「我が家の交通安全」をテーマにして各家庭における交通安全に関する話し合いを進めることを通じ、国民1人1人の交通安全意識の高揚を図り、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に資することを目的とした交通安全ファミリー作文コンクール（44回目）を実施した。

令和4年度は、小学生1,192点、中学生3,614点、合計4,806点の応募となった。

⑤反射材フェアへの協賛

全日本交通安全協会、反射材活用推進委員会が主催する反射材フェアに当協会の夜間視認性体験シミュレータ等の教育機器の貸し出しとともに指導者の派遣を行った。

日 時 令和4年10月22日（土） 11:00～18:00

場 所 東京都／サンシャインシティ アルバB1F 噴水広場（YouTube ライブ配信）

テ ー マ 着けよう反射材!! 防ごう夜間の交通事故

内 容 ○オープニングセレモニー

○反射材効果体験ショー

○交通安全教室 他

II 調査研究活動

効果的な交通安全対策、事業の企画・実施に資することを目的として、令和4年度は、「さいたま市教育委員会より学校安全研究指定校となった小学校5年生の児童とその保護者を対象に、新たな交通安全教育手法の取り組みとして「ヒヤリハット体験やフィールドワーク情報を活用したデジタルマップづくり」を実施するとともに、交通行動や交通安全意識等についての調査を行った。

Ⅲ 情報収集提供活動

主として行政や教育現場、地域や職場において交通安全教育に携わっている担当者等に対し、交通安全教育や啓発活動を推進する上で有益かつ実践的な情報を提供するとともに、当協会の活動内容やタイムリーな交通安全情報等を広く国民一般に向けて発信することを目的として、下記のとおり、2種類の活動を実施した。

1. 月刊誌「交通安全教育」の編集・刊行

交通安全に関する対策や指導方法、具体的な教育指導事例等を掲載した月刊誌「交通安全教育」紙書籍版及び電子書籍版を毎月編集・刊行した。

さらに、令和5年4月号より幼児・児童・生徒に関連する記事等をピックアップした学校教育者向けの電子書籍版を刊行し、専用サイトからスマートフォンやパソコンで閲覧できるようにした。

2. ホームページによる情報の発信及び収集

フェイスブック、ツイッターなどのSNSを積極的な活用し、交通安全イベント及び研修会等の周知や交通安全教育、各種教材・教具等に関する情報を広く発信するとともに、双方向的に全国各地で行われている交通安全の取り組み等の収集に努めた。

Ⅳ 教材の制作・普及事業

1. 交通安全教育啓発資料・機材の開発及び普及

当協会が制作、開発している交通安全教育啓発資料・機材について、交通事故の経年変化や道路交通法の改正等に対応して、適宜、改訂を行うとともに、全国の自治体、関係機関・団体等に対する訪問活動やホームページ・SNS・DM等の媒体を活用した広報活動を通して、広く周知を図り、各種の交通安全活動を効果的に進める上での有効活用を普及促進した。

また、令和4年11月の「自転車安全利用五則」の改訂、令和5年4月施行の「自転車乗車用ヘルメット着用努力義務化」に伴い、自転車関連の資料及び機材について、内容の改訂・改修を行った。

2. 教育啓発資料の監修・指導等の実施

関係機関・団体及び民間企業等が企画・制作する交通安全啓発用資料・教材に対して、要請に応じて企画・監修・指導等を行った。

3. 児童及び自転車通学者向け高視認性安全服認証及び推奨制度の普及

「子どもたちを交通事故から守り、ドライバーを加害者にしない」ことを目的として、ドライバーから児童や自転車通学者の視認率を高めるための高視認性安全服の着用普及を図るために、「児童及び自転車通学者向け高視認性安全服」に対して交通事故防止の観点から基準を設け、基準に適合した製品を認証するとともに、その証として認証ラベルを発行した。

①認証・推奨数 認証件数 7件、推奨件数 15件（令和5年3月31日現在累計）

②ラベル発行数 認証ラベル 20,282枚、推奨ラベル 197,760枚（令和5年3月31日現在累計）

Ⅴ 基本財産の運用

当協会の健全な運営を進めるためには、安定した財政基盤が不可欠であることから、所有ビルを賃貸するなど、基本財産等の運用に関する事業を引き続き実施し、その運用益の確保に努めた。

VI 会議の開催

以下のとおり、理事会、評議員会等を開催した。

1. 理事会

- (1) 期日 令和4年6月8日(水)
会場 (一財)日本交通安全教育普及協会 会議室(新型コロナウイルス感染症予防のためオンラインを併用して開催)
議題 第1号議案 令和3年度事業報告書(案)の承認について
第2号議案 令和3年度貸借対照表及び正味財産増減計算書(案)の承認について
第3号議案 令和3年度公益目的支出計画実施報告書概要(案)の承認について
第4号議案 定款の改正(案)の評議員会への提案について
第5号議案 役員候補者の評議員会への提案について
第6号議案 定時評議員会の開催(案)について
第7号議案 顧問・相談役・参与の委嘱(案)について
第8号議案 代表理事の職務執行状況の報告について
- (2) 期日 令和5年3月8日(水)
会場 (一財)日本交通安全教育普及協会 会議室(新型コロナウイルス感染症予防のためオンラインを併用して開催)
議題 第1号議案 令和5年度事業計画(案)の承認について
第2号議案 令和5年度収支予算(案)の承認について
第3号議案 職員給与規定・専門職員給与規定の改正について
第4号議案 事務局長の任命の承認について
第5号議案 代表理事の職務執行状況の報告について

2. 評議員会

- 期日 令和4年6月28日(火)
会場 (一財)日本交通安全教育普及協会 会議室(新型コロナウイルス感染症予防のためオンラインを併用して開催)
議題 第1号議案 令和3年度事業報告について
第2号議案 令和3年度貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認について
第3号議案 令和3年度公益目的支出計画実施報告書(概要)について
第4号議案 定款の一部改正について
第5号議案 評議員の選任について
第6号議案 役員の選任について

3. その他

ほぼ1か月に1回の割合で、代表理事・事務局による定例会議を開催し、業務の執行等について連絡協議を行った。